

ソレイユ千種内でのマスク着用ルールの変更について 経過報告と今後について

8月21日～9月20日までの1か月間を試行期間として、入居者、面会者および職員のマスク着用を個人の判断としたことについて評価を行いました。

この間、9/8～9/10に2階でコロナ感染が入居者と職員合わせて9名に確認されましたが、その後新たな感染はなく終息しました。また、8月21日以降のマスク着用について2階に関わる職員に聞き取りを行ったところ、息苦しい時に短時間マスクを外した、口の動きを見せるときにマスクを外したと回答した以外は、ほぼ全ての職員が常時マスク着用していました。これらのことから、コロナ感染とマスク着脱との直接の因果関係は無いと考えられました。

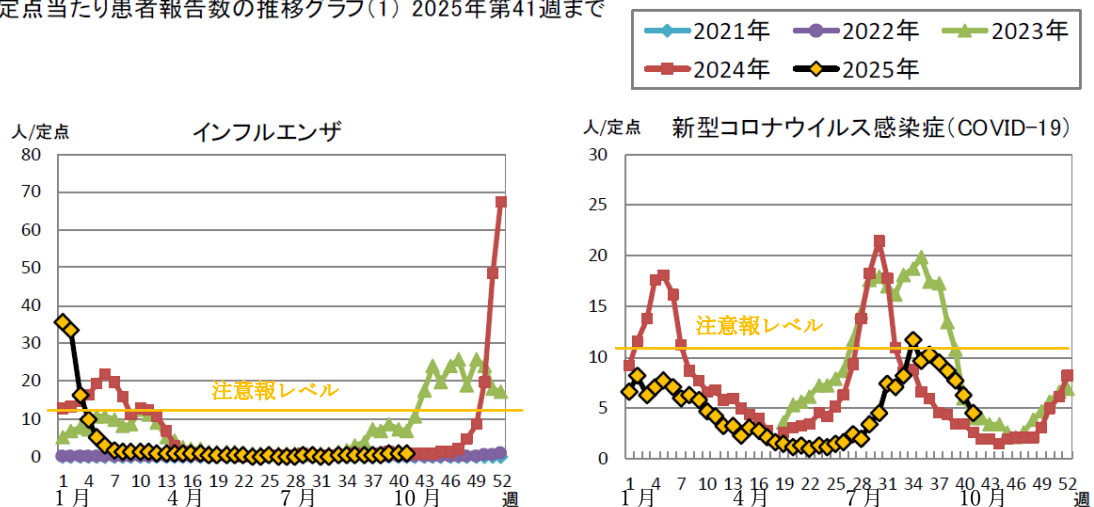
これを踏まえて、引き続きマスク着用は個人の判断といたします。ただし、感染症流行時はマスク着用が感染拡大防止に有用であるため、下記の基準を目安にしてマスク着用を行うことといたします。

【マスク着用のルール】

- ① 自身が咳などの上気道症状がある時
- ② 5類感染症、定点当たり10人（注意報レベル）以上発生した場合

<名古屋市感染症発生動向調査>

◆急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点医療機関からの
定点当たり患者報告数の推移グラフ(1) 2025年第41週まで



2025年10月18日
ソレイユ千種